

生産部

生産振興課、経営政策調整官

生産部生産振興課の主な業務

- 1 麦・大豆・新規需要米（米粉用、飼料用など）等の生産振興等
- 2 米の用途別（主食用、加工用など）の需要に応じた生産・販売への助言
- 3 米・麦などの主要食糧の消費の拡大 など

【東海農政局における具体的な取組事例】

① 東海大豆現地検討会

・大豆の生産振興のため、生産者、生産者団体、実需者、県の関係者が集まり、生産における課題や対応技術などについて情報交換やほ場見学を実施。



ほ場見学

② 米粉の調理講習会

・米粉に関心のある消費者を対象に、米粉の利用拡大を目的とした調理講習会を開催。



調理に取り組む参加者

選考採用者 インタビュー

R6年度採用 生産振興課 A係長

📎 今担当している業務は？

学校給食やこども食堂・こども宅食への政府備蓄米無償交付の申請や、米の消費拡大、米粉の普及推進など米穀の流通に関する業務を担当しています。

📎 農水省を志望した理由は？

前職も農業と関わりある会社に勤めており、農家の高齢化と担い手減少や後継者不足、農家所得がなかなか増加しないなど、農業の現状と抱えている課題を間近で見てきました。今まで以上にもっと広い範囲の農業者を支えていきたいと思い、志望しました。

📎 職場環境について

システムやメールでの申請・提出が多くて驚きましたが、周りの職員の方が教えていただけるため難なく行えます。業務に関しても同じく、周りの職員の方から教えていただけるので安心です。福利厚生もしっかりしています。

📎 皆さんへのメッセージを

公務員に対してどんなイメージを持っていますか？ イメージ通りのところもありますが、業務内容は想像以上に多種多様です。持っている知識や能力、経験を活かせる場所があります。

とある一日のスケジュール

8:30 出勤



メール確認・政府備蓄米無償交付に係る申請書類受理
申請書類の確認を行い、不備・不足項目をまとめ、共有ファイルへデータ入力を行う

11:00

申請者へ不備・不足項目の修正対応を依頼

12:00

昼食

13:00



市区町村等へ申請者についての照会

15:00

本省へ申請書をTeamsで連携し、次手続きに向けての準備。
共有ファイルの入力データのダブルチェック

17:15 退勤

経営政策調整官(課では10人の職員で業務を実施)

【担当業務：経営所得安定対策等の交付金の農業者への交付】

○交付金の内容：以下のような担い手の経営安定や食料自給向上に向けた水田を活用した麦、大豆等の生産

- ①諸外国との生産条件の格差により不利がある麦・大豆・そば等の生産と販売との差額を補てん
- ②米や畑作物の価格が下落し、当年産の収入が減少した場合に、その減少額を補てん
- ③水田を活用して麦、大豆、米粉用米等を戦略作物として生産することや水田の畑地化に対して交付

○申請件数(各交付金合計(延べ数))

岐阜県：4,537件
愛知県：2,857件
三重県：3,319件
(令和5年度)



小麦



大豆



そば



なたね

【交付金の申請から交付までの流れ】



経営政策調整官

- ・ 課全体を統括



推進担当 5 名

- ・ 経営所得安定対策等の推進、指導、助言
- ・ 交付金算定システムの対応
- ・ 疑義案件に対する立入調査

経理担当 4 名

- ・ 交付金の支出に関する審査
- ・ 交付決定後、官庁会計システム（ADAMS II）で支払い
- ・ 交付金の誤払い案件の対応



【事務系職員の担当業務】

経理関係業務を担当



- ・ 交付申請者の住所・氏名、口座情報などを確認し、官庁会計システム（ADAMS II）に登録
- ・ 管内の予算要求及び決算（事務費や人件費など）の適正な管理と執行
- ・ 毎週、管内の県拠点から交付金の支払計画を確認し、支払件数と金額を本省に報告
- ・ 誤払いの返納状況について、官庁会計システム（ADAMS II）で確認し、県拠点に共有

経営・事業支援部

輸出促進課、農地政策推進課、経営支援課

✈ 輸出促進課の紹介 ✈

私たちのミッション

2023年輸出額
1.5兆円



2030年目標
5兆円



■ 既にある輸出をさらに拡大し

■ 新たな輸出プレイヤーを増やす

2030年輸出額目標
5兆円の達成！

主な業務

★★ 既存輸出の拡大

- ・国内外商談会でのマッチング
- ・施設整備等への補助

★★ 輸出プレイヤーの増加

- ・輸出に向けた助言、意見交換
- ・専門家派遣、セミナー開催

★★ 輸出証明書の発行

- ・輸出時に必要な証明書の審査・発行

セミナー開催後
動画をHPに掲載



【東海農政局「東海GFP」】第4回 輸出商談スキルアップ&準備セミナー

業務体制

職員39名(令和6年7月現在)が
5つのチームに分かれて業務を実施

総務チーム

課の窓口、局課内の調整、情報発信など

事業推進(GI含む)チーム

東海GFP、ソフト補助事業、GI保護など

加工食品チーム

加工食品の輸出支援、施設整備補助事業など

産地サポーターチーム

輸出に向けた助言、輸出事業計画策定支援など

輸出証明チーム

輸出時に必要な証明書の審査・発行など



選考採用者インタビュー

(令和5年度採用 業務推進専門職)



…担当している業務

事業推進チームで、委託事業(東海GFP)や補助事業の事務手続きを担当しています。委託事業では、受託者と連携して、輸出支援体制の構築、輸出に取り組む事業者からの相談対応、輸出関連の情報発信(HP・メルマガ)などを行っています。

…農水省を志望した理由

家庭を持ってから、これまで以上に食の安全や安定供給への関心が高くなり、「食」の分野から国を支える農政局での仕事に魅力を感じたことから志望しました。

…印象に残っている業務

補助事業を活用している選果工場や圃場、県農業技術センターへの現地視察を行った際、輸送やプロモーションでの工夫、AI選果場や品質保持技術の研究など、高品質の青果物を鮮度の高い状態で海外輸出するための多数の工程や現場の取組、課題感を直接肌で感じることができ、非常に貴重な経験になりました。

まさに百聞は一見に如かず、書類確認だけでなく現地訪問することは大切であると感じました。その点、現在の職場は現地訪問の機会にも恵まれており、日々刺激があります。

…ワークライフバランス

職場の方々のご協力のおかげで、フレックスタイムやテレワーク制度を活用させていただきながら、公私ともに自分らしく過ごすことができます。

…皆さんへのメッセージ

チーム単位でコミュニケーションをとって業務を進めていくことが多く、疑問や不明な点についても相談しながら解決し進めることができる職場です。

異業界から転職した選考採用者も多く活躍しているので、仕事面で不安を持たれている方がいらっしゃったら、安心していただけたらと思います。

とある1日のスケジュール

9:00 出勤

メールの確認をし、返信や作業依頼に対応。

10:00 オンライン訪問診断

Web会議で、輸出を始めたい事業者の方からの相談を受ける。

12:00 昼食

未就学児がいるため、昼休みを1時間から30分に短縮。(その分退勤時間を30分前倒し。)

12:30 Webサイトの更新

最新の情報を届けるため、毎週更新。

15:00 資料作成・打合せ

委託事業に関する説明会の資料を作成し、当日の流れについてチーム内で打合せ。

17:15 退勤

(フレックスタイム活用により退勤時間は日によって異なる。)

- 食料生産の基盤であり、農業の持続的発展に不可欠な農地は、適正かつ効果的に利用する必要があることから、農地政策推進課は、農地制度を適切に運用するとともに、農地バンク等による農地集積等の活動を推進しています。

農地政策推進課の業務

① 農地制度の適切な運用

- ・ 農地の売買・貸借・相続・税制に関する制度の運用
- ・ 農地所有適格法人（農地を所有できる法人）及び農地所有適格法人以外の法人（一般法人）の農業参入と制度の運用
- ・ 遊休農地の措置に関する運用

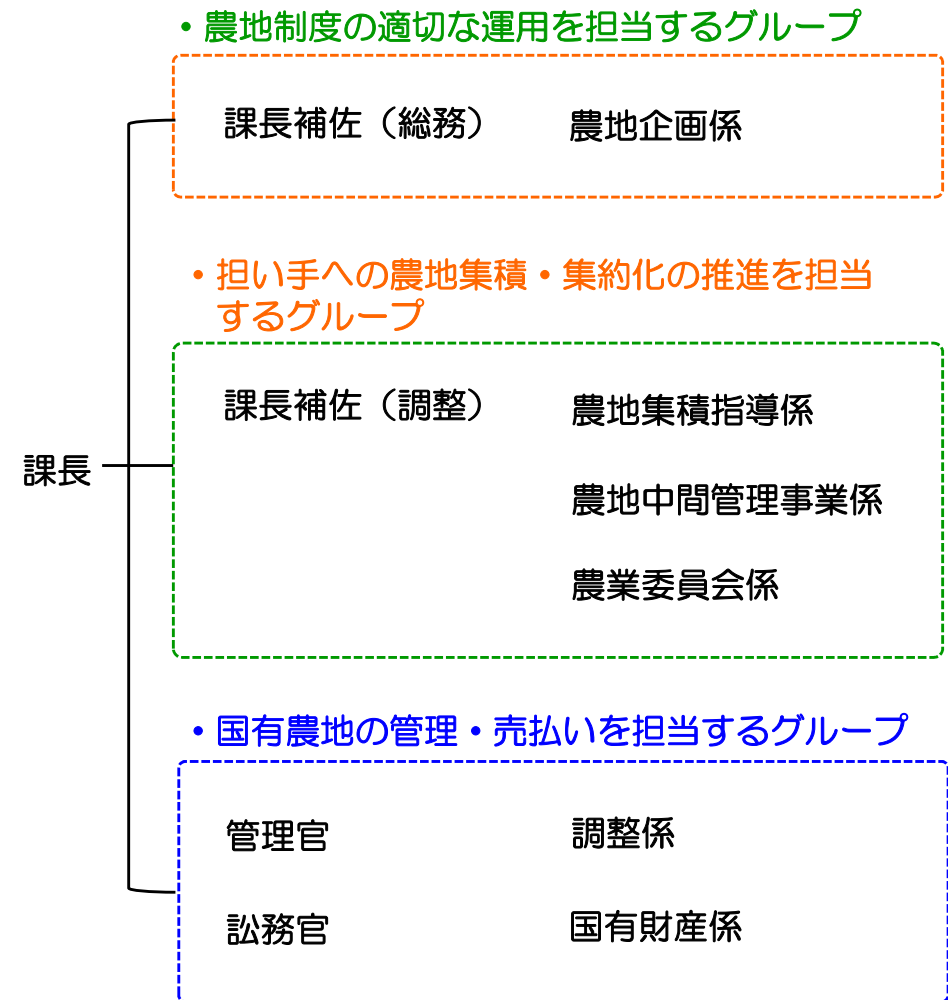
② 担い手への農地集積・集約化の推進

- ・ 担い手への農地の集積・集約化の促進に関する制度の運用
- ・ 農地バンク（農地中間管理機構）による農地の集積・集約化の促進
- ・ 農地利用の最適化（担い手への農地集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進）の推進、農地の権利移動の許可等を担う農業委員会制度の運用

③ 国有農地の管理・売払い

- ・ 自作農財産の管理・売払い
- ・ 相続土地国庫帰属制度により国庫に帰属した農地の管理・売払い

農地政策推進課の体制



※農地バンク(農地中間管理機構)は、農地の出し手から農地を借り受け、農地の受け手にまとまりのある形で農地を貸し付ける事業を行う、各都道府県に設置されている公的な機関です。

R6年度の選考採用者が担当している業務（農地バンクの活用による担い手への農地集積）

R6年度選考採用者 農地中間管理事業係長 Aさん

担当している業務の具体的な内容

○ 農地バンクの実績調査（R5年度）

- ・担い手の農地利用集積状況を把握する調査の実施・取りまとめ
- ・農地バンクによる農地の借入・転貸面積など、活動状況を把握する調査の実施・取りまとめ

○ 農地バンクに対する補助金の交付事務

- ・農地バンクの運営費や農地バンクが行う遊休農地の解消等の取組を支援する補助金の交付事務
- ・農地バンクが離農農家等から農地を買入れ、担い手等に売り渡す事業を支援する補助金の交付事務

○ 担い手への農地集積を推進の働きかけ

- ・農地バンク、県・市町村等への働きかけ 等

Aさんへのインタビュー

Q1 農水省を志望した動機は？

自分の子供が大人になった時に、現在と同じような豊かな食と美しい環境があるかということに疑問を持っており、農水省のビジョンステートメントにあるように、未来に食と環境を継承していけるような仕事に携われればと思い志望しました。

Q2 農水省は、自分のイメージどおりでしたか？

まだ、ほんの一部分の仕事しか見ていませんが、こんなことまで、農林水産省の業務になるのかと驚いたことがたくさんありました。

電子化（決裁処理など）が進んでいる点は、イメージと異なりました。

Q3 農水省を志望する皆さんへメッセージを！

将来の日本の在り様につながる重要な仕事だと思います。ぜひ、一緒にお仕事できればと思います。

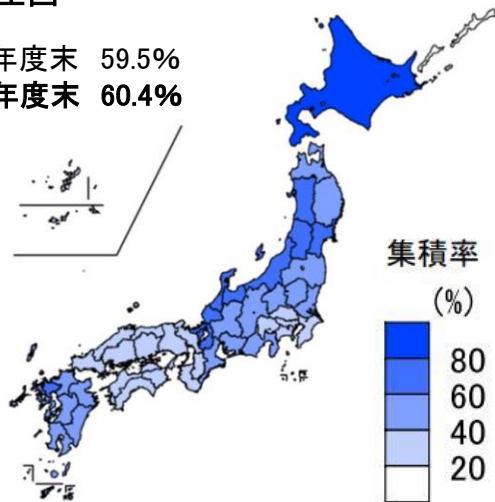
担当する農地バンクのチラシ



Aさんが取りまとめた 東海農政局管内の担い手への農地利用集積の状況（R5年度末）

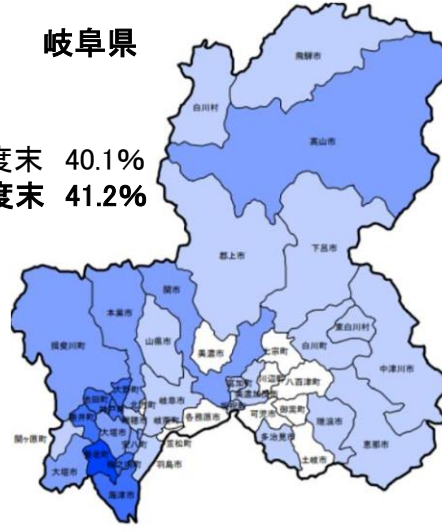
全国

- ・R4年度末 59.5%
- ・R5年度末 60.4%



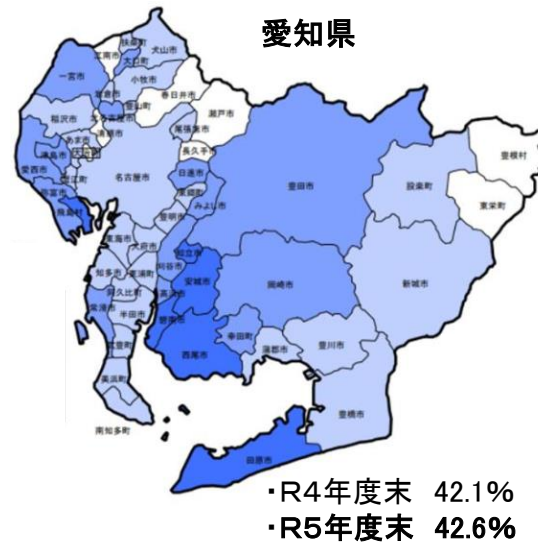
岐阜県

- ・R4年度末 40.1%
- ・R5年度末 41.2%



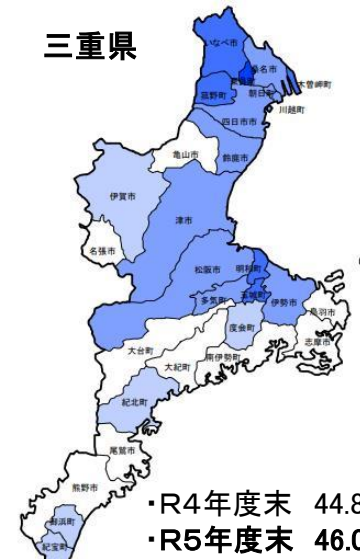
愛知県

- ・R4年度末 42.1%
- ・R5年度末 42.6%



三重県

- ・R4年度末 44.8%
- ・R5年度末 46.0%



経営支援課(12人)

経営支援課には、総務班(1人)、就農促進班(5人)、技術班(3人)、農業協同組合指導班(2人)の4つの班があり、課長を含めて12人で業務を担当しています。

業務内容としては、主に①農業を担う人材の確保・育成、②女性農業者の活躍推進・男女共同参画の推進、③農業分野における外国人の受入れに関する制度の適正な運用、④目標地図に位置付けられた者等への機械施設の導入支援、⑤農業制度資金の周知・活用推進及び農業信用保証保険制度に関する指導、⑥農業協同組合等の指導などを行っています。

①農業を担う人材(新規就農者、雇用就農者)の確保・育成

・新規就農者の確保・育成、認定新規就農者制度の指導・推進、雇用就農の促進、農業教育の高度化等の支援を行っています。

②女性農業者の活躍推進・男女共同参画の推進

・女性農業者の活躍推進及び男女共同参画(農業委員、農協役員、土地改良区理事に占める女性の割合向上)の推進を行っています。

③農業分野における外国人の受入れに関する制度の適正な運用

・特定技能外国人の受入れ制度や外国人技能実習制度の適切な運用を推進しています。

④目標地図に位置付けられた者等への機械施設の導入支援

・地域計画の目標地図に位置付けられた者等が融資を受けて農業機械や施設を導入する取組を支援しています。
・災害により農業機械や施設に被害を受けた農業者に対して、復旧のための農業機械や施設の導入する取組を支援しています。

⑤農業制度資金の周知・活用推進等

・農業制度資金の周知及び活用の働きかけ、融通に係る県等との連絡調整を行っています。
・県農業信用基金協会における経営や業務状況の把握及び指導等を行っています。

⑥農業協同組合等の指導

・農業協同組合その他の農業者の協同組織に対して指導等を行っています。

○ 目標地図に位置付けられた者等への機械施設の導入支援例

地域の担い手に位置付けられている経営体に対し、機械導入支援を行うことで、経営規模の拡大を進め、持続可能な地域農業の確立を推進しています。

補助事業で導入した農業機械



【WCS収穫機】



【自走ラップマシーン】

○「新規就農相談コーナー」の取組



新規就農相談の様子
(令和4年7月)

当課では、平成21年10月からオーガニックファーマーズ名古屋(代表:吉野隆子氏)のご協力を得て、名古屋市栄のオアシス21で開催されているオーガニックファーマーズ朝市村の一角で、有機農業の新規就農希望者等に対して、国の支援策や新規就農の方法などの相談を受ける取り組みを行っています。

選考採用者 インタビュー

R6年度採用 経営支援課 事業指導係長のAさん

📁 今担当している業務は？

農業分野における特定技能外国人の受入れ制度など外国人の受入れに関する業務と、農業者のキャリアアップに関する補助事業の事務を主に行っています。所属する就農促進班では、農業を担う人材を確保・育成するための補助事業、新規就農の相談会、農業女子プロジェクトの推進などを行っています。

📁 農水省を志望した理由は？

公共のために働きたいと思うようになり、職務経験から「食」に関する政策を知り、その政策を実行して食の安全・安心を守りたいと考え、志望しました。

📁 職場環境について

和気あいあいとした雰囲気、業務内容や農業の知識については上司や先輩方が丁寧に教えてくださいますので、安心して質問することができます。また、選考採用者に対するフォロー体制も手厚くなっています。

📁 皆さんへのメッセージを

転職では新しい業務に不安があるかもしれませんが、職場の皆さんがサポートして下さいますので心配ありません。これまでの経験やスキルを活かして新たに挑戦できるチャンスです。一緒に働けることを楽しみにしています！

とある一日のスケジュール



8:30

出勤

メール確認、準備
メールの確認、作業の整理など

10:00

提出書類の作成

外国人受入れ制度に関する情報収集、
受入れ機関へ送付する書類の作成

12:00

昼食



13:00

補助事業に関する業務

補助を受ける対象者から
提出された書類の内容確認



15:00

各種連絡

管内の県への連絡や
情報提供など



17:15

退勤